

# 日弁連公害対策・環境保全委員会 発足40周年記念シンポジウム

JFBA 日本弁護士連合会

## そしていのちを守るたたかいは続く ～40年の軌跡と将来戦略

2010年4月24日(土)午後1時～午後5時  
弁護士会館2階講堂「クレオ」A

参加費無料 ※どなたでも参加できます

学者・研究者，法科大学院生・学生，環境実務関係者，環境NGO・一般市民の方々も奮って御参加ください。第一線で活躍した現場実践者から，環境問題の歴史と課題が学べます。

当連合会は，1960年代の経済成長に伴って全国各地に発生した悲惨な公害を人権問題としてとらえ，公害被害者救済のための活動を始めました。そして，1969年5月に「公害対策委員会」を設置し，その後，1985年7月には「公害対策・環境保全委員会」に改称し，活動の範囲を公害対策のみならず，環境の保全へも広げることが明確にしました。現在，委員会の取組みは国内にとどまらず，世界規模の環境問題へと，さらに範囲を拡大しています。今年度は委員会の発足40周年にあたります。

今回の記念シンポジウムでは，これまでの委員会や弁護士の活動を概観した上で，その成果を検証し，今後どのような活動をするべきかを探ります(詳細裏面)。

みなさまの御参加をお待ちしています。

【パネリスト】学 者 淡路剛久 (早稲田大学大学院法務研究科 教授)

畠山武道 ( 同 教授)

弁護士 豊田 誠，山村恒年，須田政勝，寺田武彦，中下裕子，村松昭夫

【司会】弁護士 藤原猛爾，小島延夫

※ シンポジウムだけの御参加であれば，参加費無料・お申込みは不要です。懇親会への御参加を希望される方は，本紙にてFAX(送付先FAX:03-3580-2896)で4月20日までにお申し込みください。

※ 懇親会会費：当日支払5000円(キャンセルは必ず前日までに御連絡ください。)

御所属→弁護士 その他( )

お名前 \_\_\_\_\_ お電話 \_\_\_\_\_

御提供いただいた個人情報は，日本弁護士連合会のプライバシーポリシーに従い厳重に管理いたします。また，この個人情報に基づき，日本弁護士連合会もしくは日本弁護士連合会が委託した第三者より，シンポジウム等のイベントの開催案内，書籍のご案内その他当連合会が有益であると判断する情報を御案内させていただくことがあります。なお，個人情報は，統計的に処理・分析し，その結果を個人が特定されないような状態で公表することがあります。

主催：日本弁護士連合会

問い合わせ：人権部人権第二課 (TEL:03-3580-9509, FAX:03-3580-2896)

## 【進行予定】

- 午後 1 時 開会挨拶・趣旨説明
- 午後 1 時 10 分～2 時 50 分 第 1 部 公害根絶への闘い【司会：小島延夫】
- 1 四大公害訴訟から学ぶ
  - 2 新たな公害・科学的に未解明な健康被害との闘い
  - 3 公害は終わっていない
- 午後 2 時 50 分～3 時 10 分 ( 休 憩 )
- 午後 3 時 10 分～4 時 50 分 第 2 部 自然保護に取り組む【司会：藤原猛爾】
- 1 失われていく自然を前にして
  - 2 どうしたら自然は守れるのか
  - 3 今後の課題

## 【パネリスト・司会紹介】

早稲田大学大学院法務研究科 教授 淡路剛久：立教大学法学部教授，同大学院法務研究科教授を経て現職。民法・環境法が専門。共同不法行為論で公害訴訟救済理論の前進に貢献。日本環境会議理事長として内外の環境問題について発言。環境法政策学会理事長。

早稲田大学大学院法務研究科 教授 畠山武道：立教大学法学部教授，北海道大学法学部教授，上智大学大学院地球環境学研究科教授を経て現職。行政法・環境法が専門。アメリカの環境保護法・環境訴訟に詳しい。

豊田 誠：弁護士，全国公害弁護団連絡会議（1972年創立）の初代事務局長を務め，現在，代表委員。薬害スモン訴訟のほか，イタイイタイ病，水俣病，ハンセン病等弁護団を歴任。

山村恒年：弁護士，大阪市立大学大学院非常勤講師，国土交通省淀川本川河川保全利用委員会副委員長，NPO 地球環境と大気汚染を考える全国市民会議（CASA）代表理事。著書に「検証しながら学ぶ環境法入門－その可能性と課題」（昭和堂）など。

須田政勝：弁護士，2010年3月まで島根大学法科大学院教員。大阪空港公害訴訟，大東水害訴訟，日置川鉦山ダム水害訴訟等を担当。著書に「概説 水法・国土保全法－治水，利水そして環境へ」（山海堂）など。

寺田武彦：弁護士，龍谷大学法科大学院教授，同志社大学法科大学院嘱託講師。総務省年金記録確認地方第三者委員会委員。2001年から2007年まで国土交通省淀川水系流域委員会委員。

中下裕子：弁護士，中央大学法科大学院客員教授。ダイオキシン・環境ホルモン対策国民会議事務局長。オーブスネット事務局長。

村松昭夫：弁護士，日弁連公害対策・環境保全委員会東アジア環境被害救済予防プロジェクトチーム座長。西淀川公害訴訟，泉南アスベスト国賠訴訟等を担当。中国・韓国など東アジアにおける連携体制の構築に注力。

藤原猛爾：弁護士，立命館大学法科大学院教授。関西予防接種被害訴訟，奄美自然の権利訴訟，永源寺第二ダム建設差止め訴訟，ヤンバル農地・林道差止め訴訟など，各種の公害被害救済および自然保護活動に参加。

小島延夫：弁護士，元早稲田大学大学院法務研究科教授。環境法政策学会理事。マレーシア ARE 事件（三菱化成による公害輸出事件）など多数の環境・開発関連の事件を取り扱う。環境アセスメント，土壤汚染，まちづくり問題にも詳しい。

## 【交通アクセス】

〒100-0013 東京都千代田区霞が関1-1-3 弁護士会館2階講堂「クレオ」A

- JRの場合 JR山手線 有楽町駅より徒歩15分
- 地下鉄の場合 地下鉄丸の内線 霞ヶ関駅（B1-b出口）から徒歩1分  
地下鉄日比谷線 霞ヶ関駅（B1-b出口）から徒歩1分 ※会館B1に直結  
地下鉄千代田線 霞ヶ関駅（B1-b出口）から徒歩1分

① 当連合会では，本シンポジウムの内容を記録し，また，成果普及に利用するため，会場での写真・映像撮影及び録音を行っております。撮影した写真・映像及び録音した内容は，当連合会の会員向けの書籍のほか，当連合会のホームページ，パンフレット，一般向けの書籍等にも使用させていただくことがあります。撮影されたくない参加者の方は担当者に申し出てください。

② 報道機関による取材の可能性もあり，撮影された映像・画像はテレビ，新聞等の各種媒体において利用されることがあります。撮影されたくない参加者の方は担当者に申し出てください。